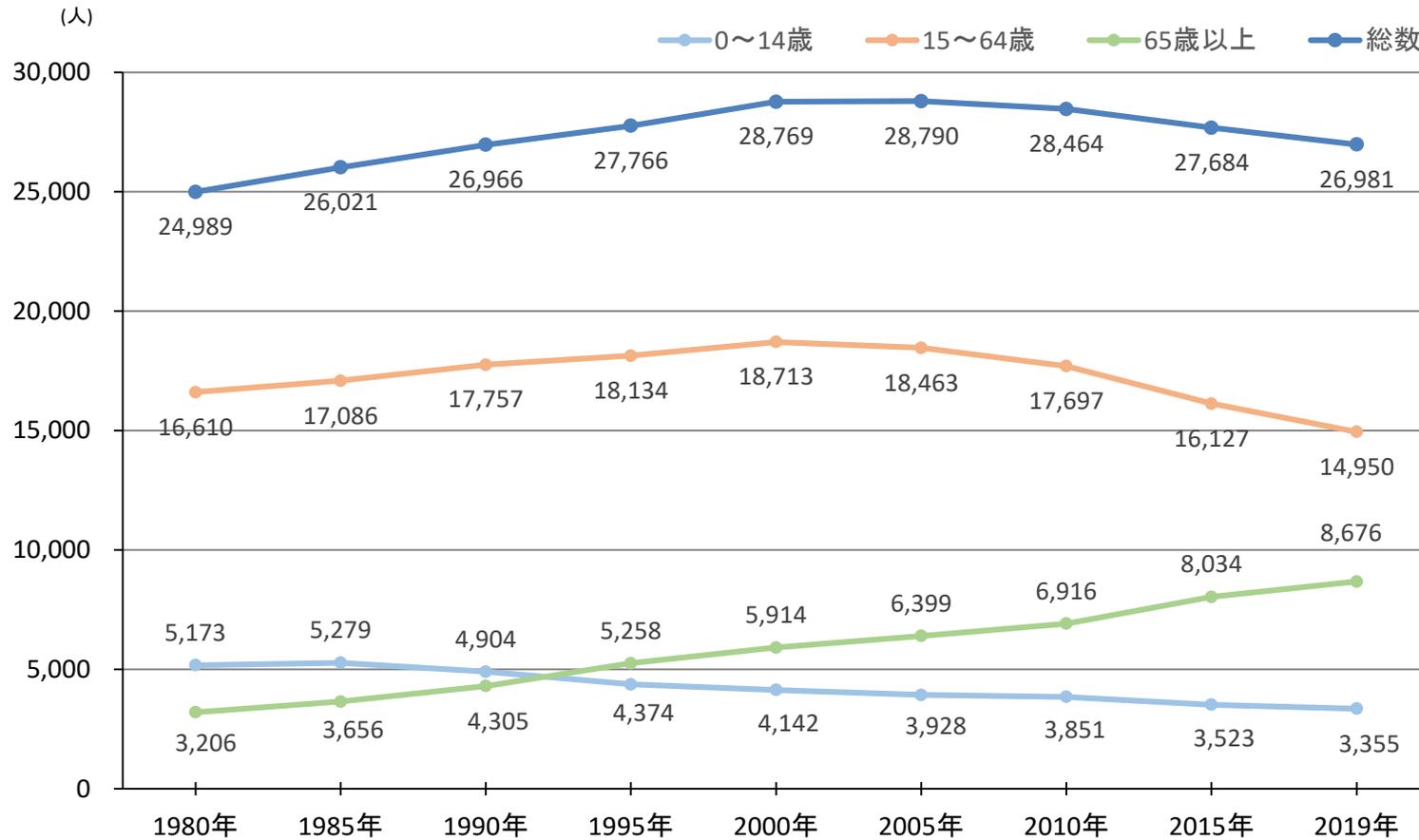


第 2 期三木町まち・ひと・しごと創生 総合戦略の策定に向けて

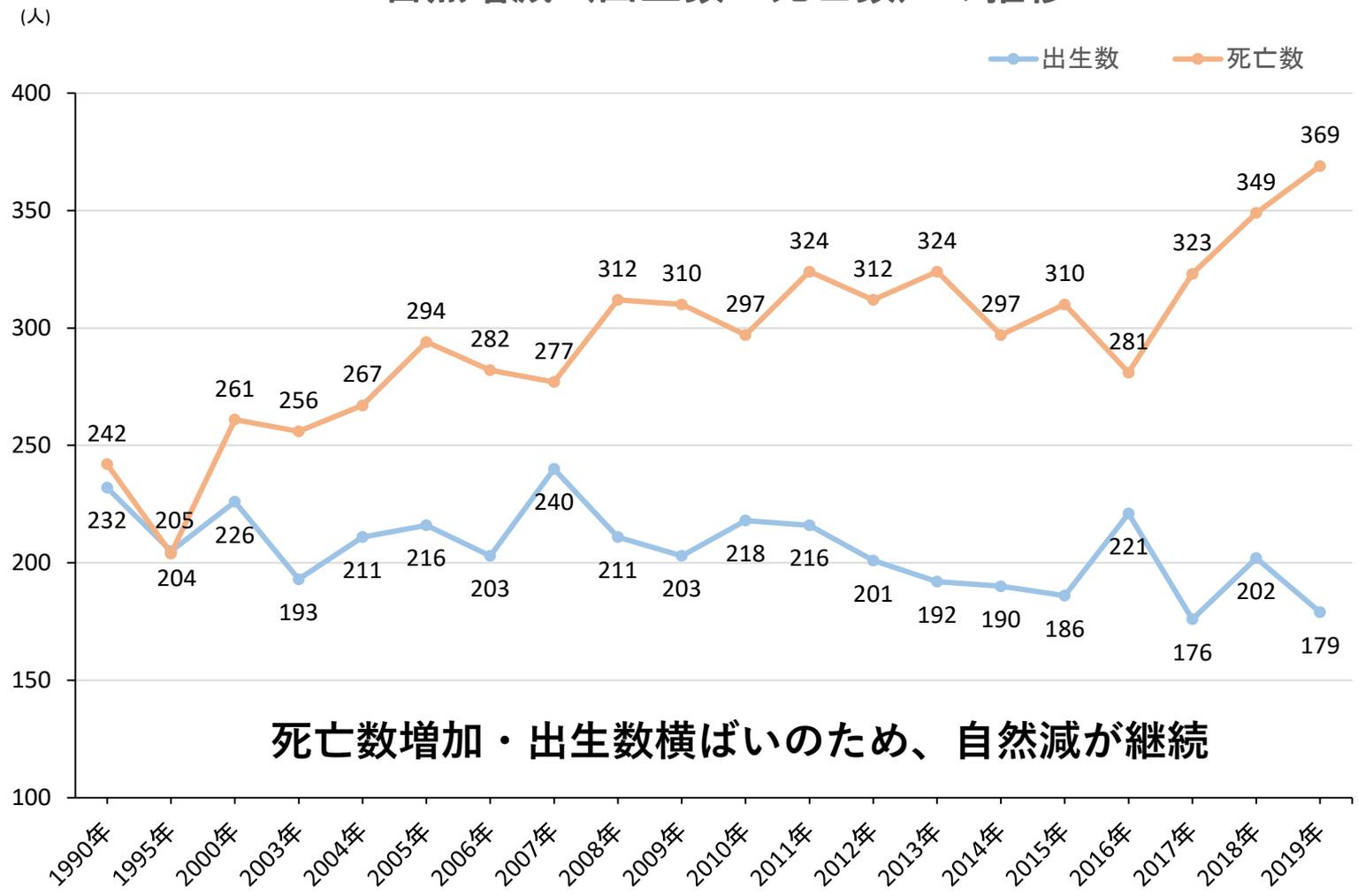
三木町政策課

令和 2 年 7 月 9 日

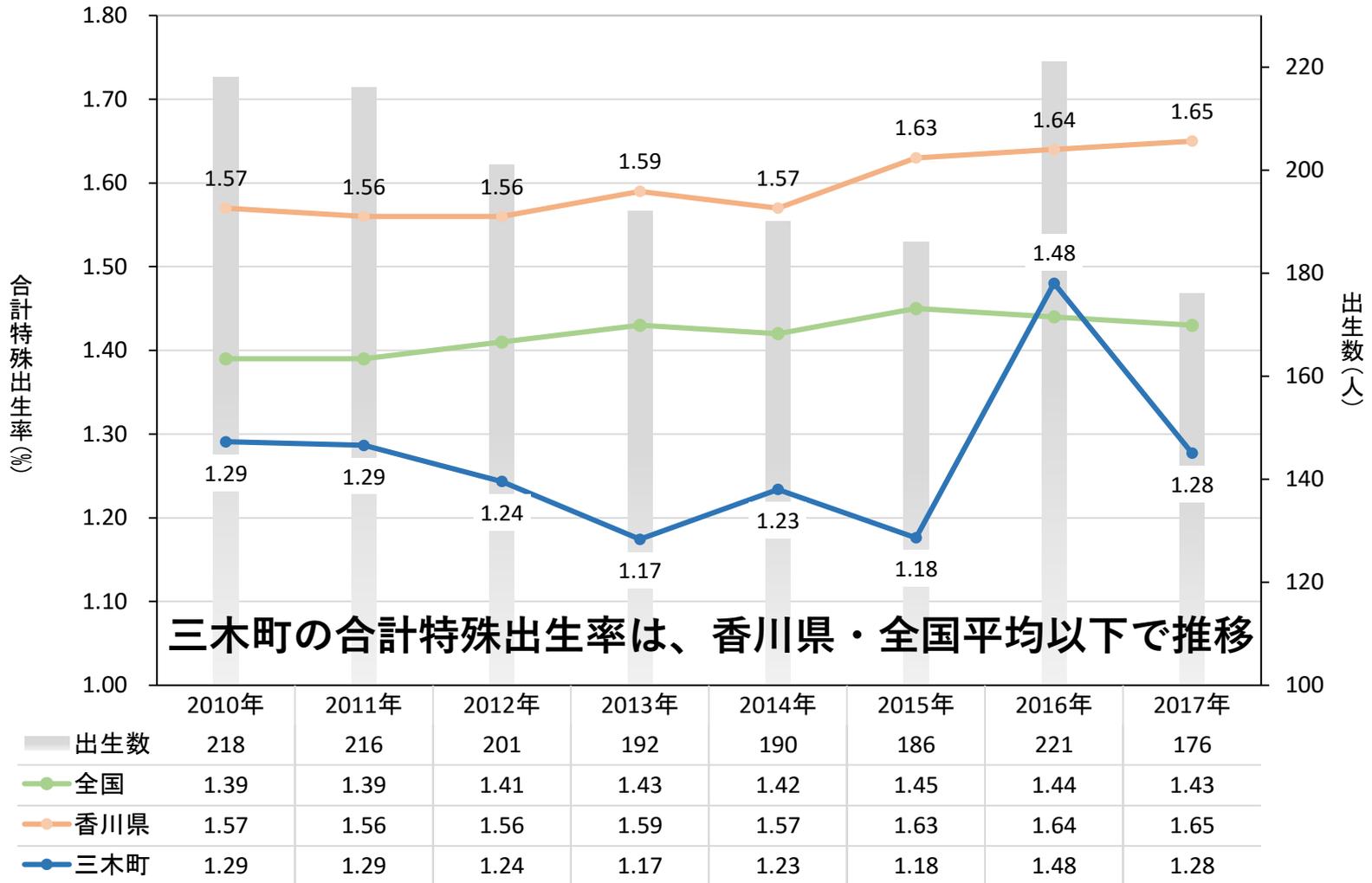
年齢区分別人口の推移



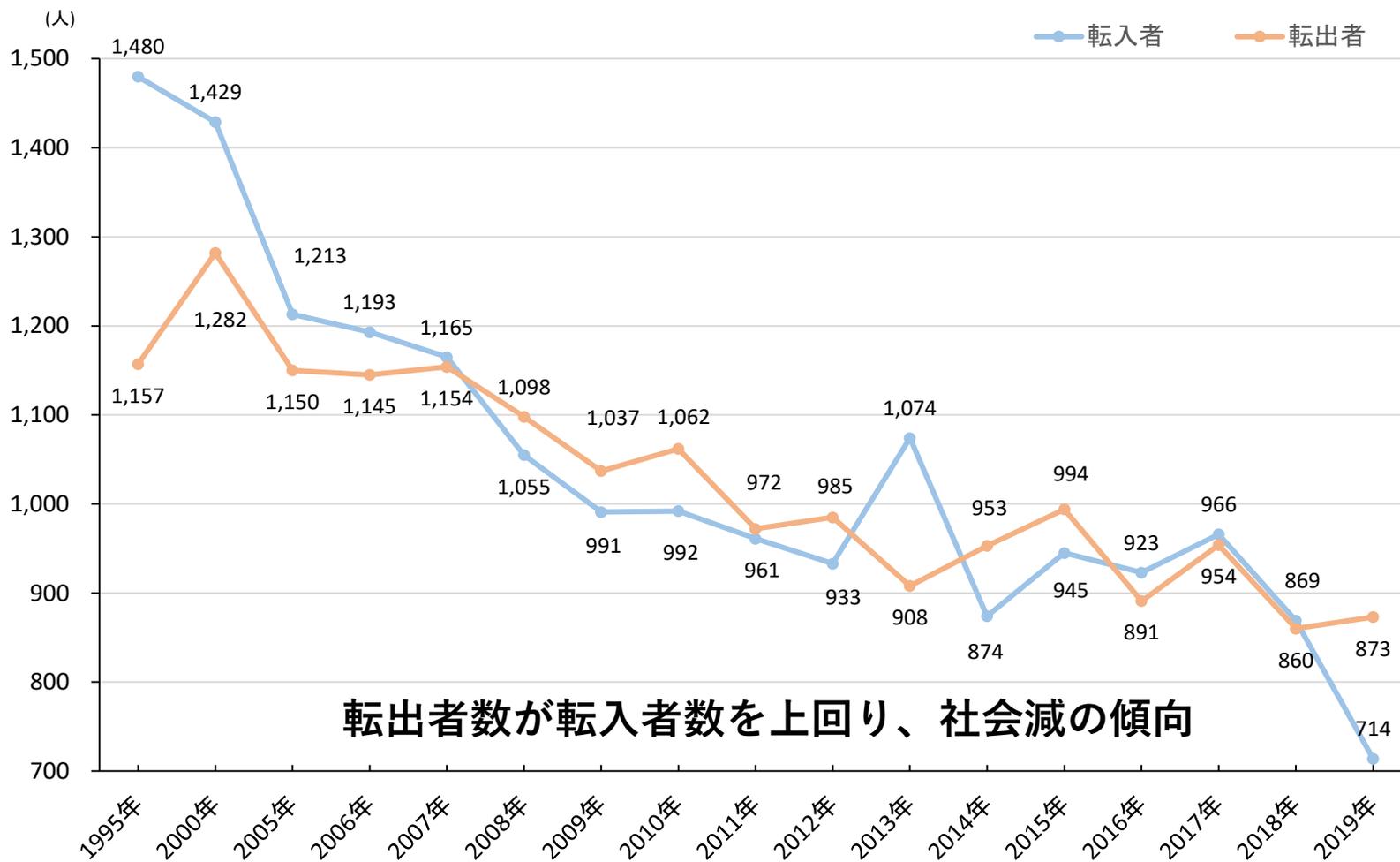
自然増減（出生数・死亡数）の推移



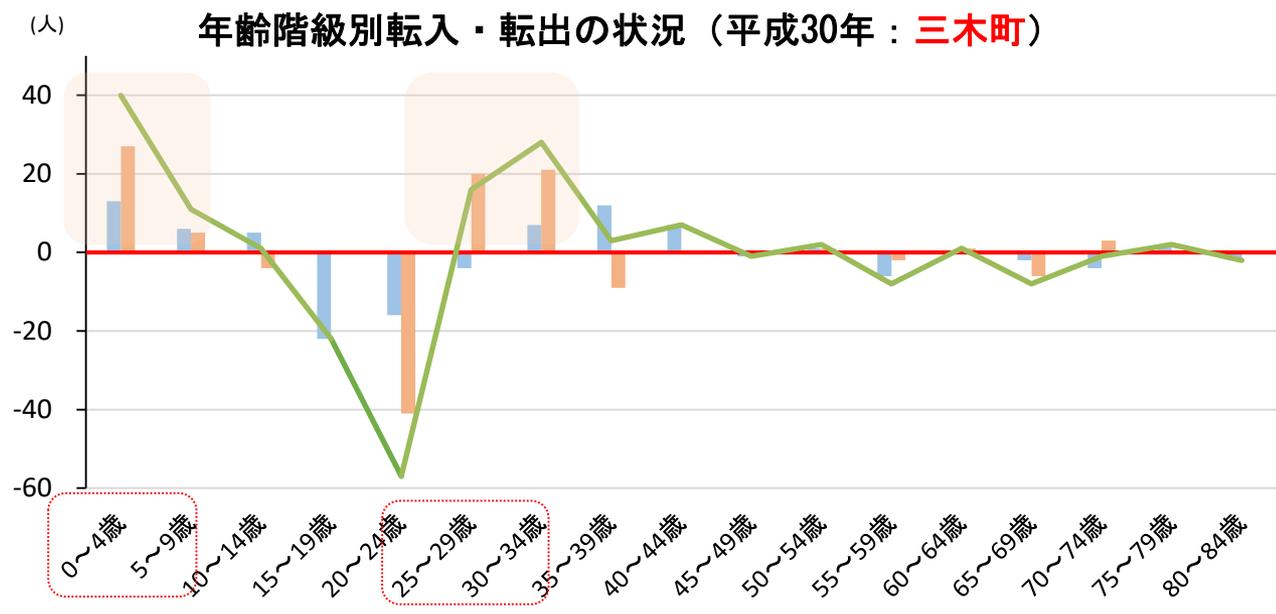
出生数と合計特殊出生率の推移



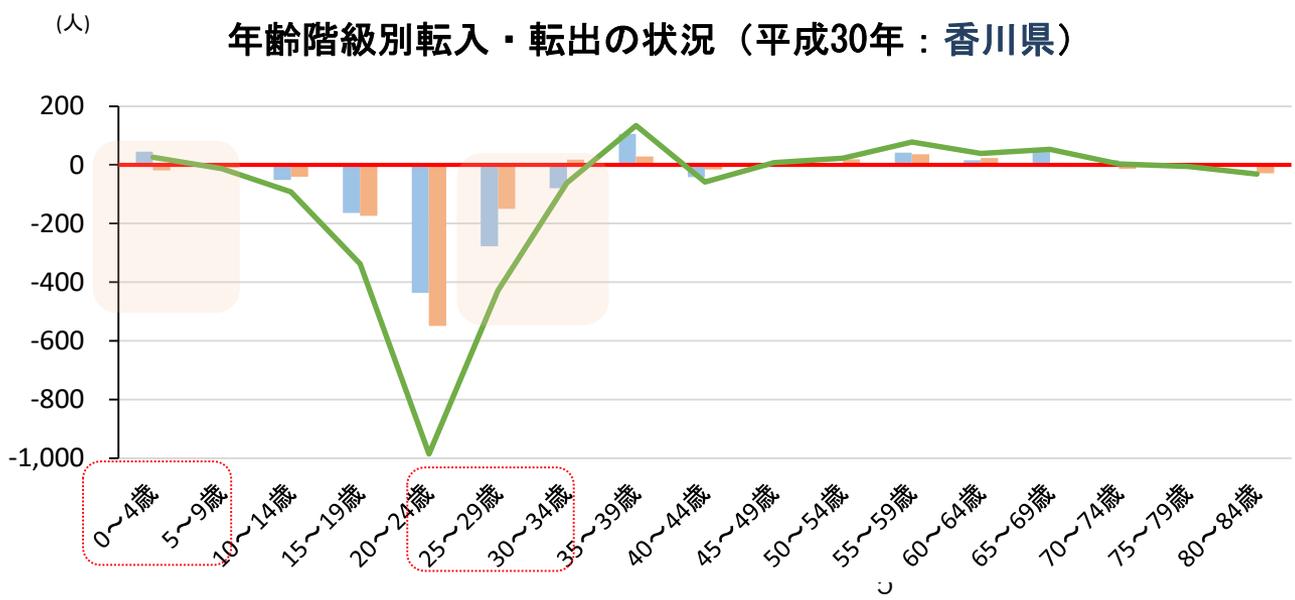
社会増減（転入・転出者数）の推移



1 第2期三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて



三木町は、0歳～9歳、25歳～34歳までの階級で転入超過となっています。



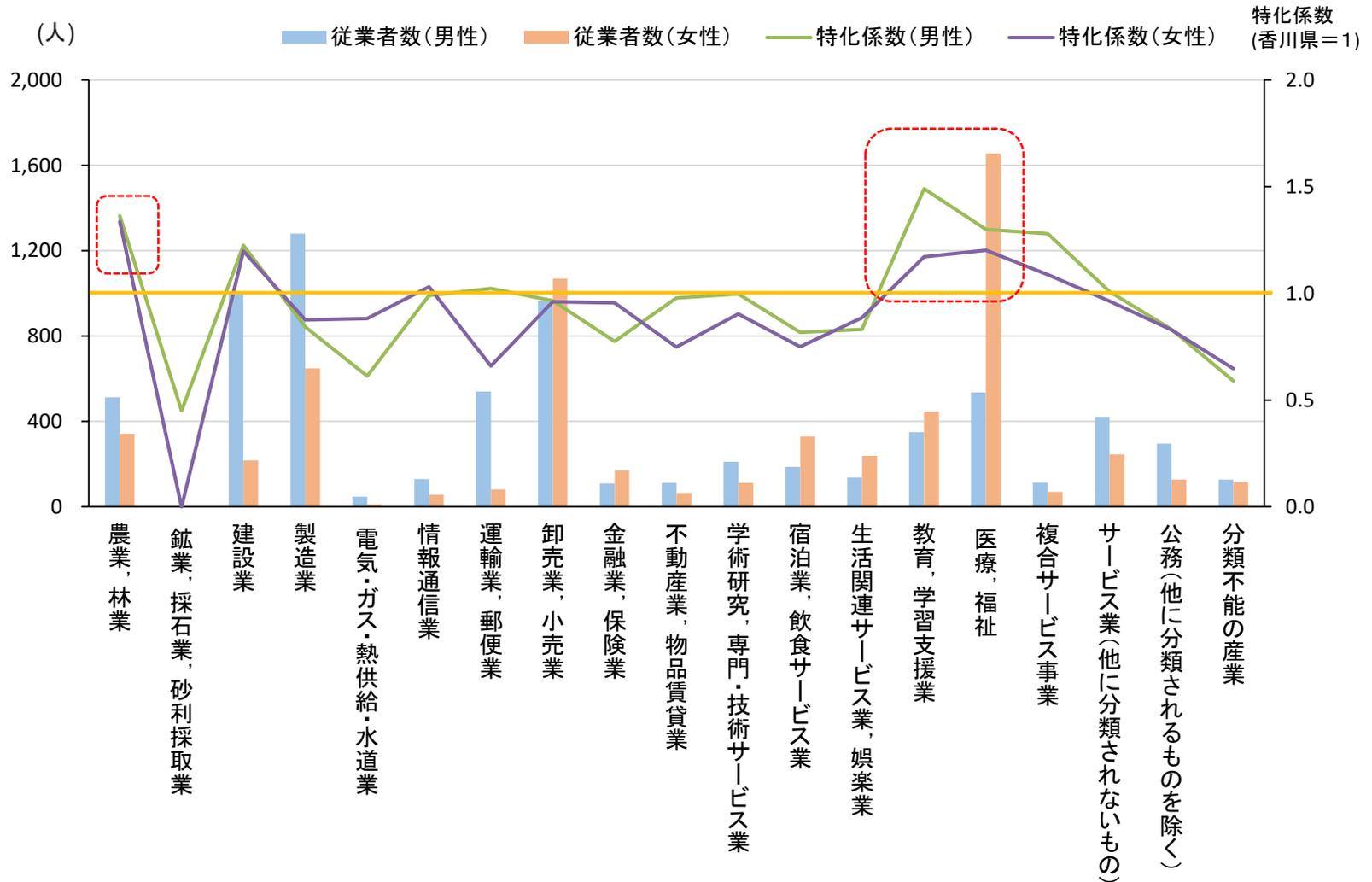
高松市のベッドタウンとして「子育て世帯」の転入が多い傾向にあります。

高松市を中心とした人口移動状況（平成30年）

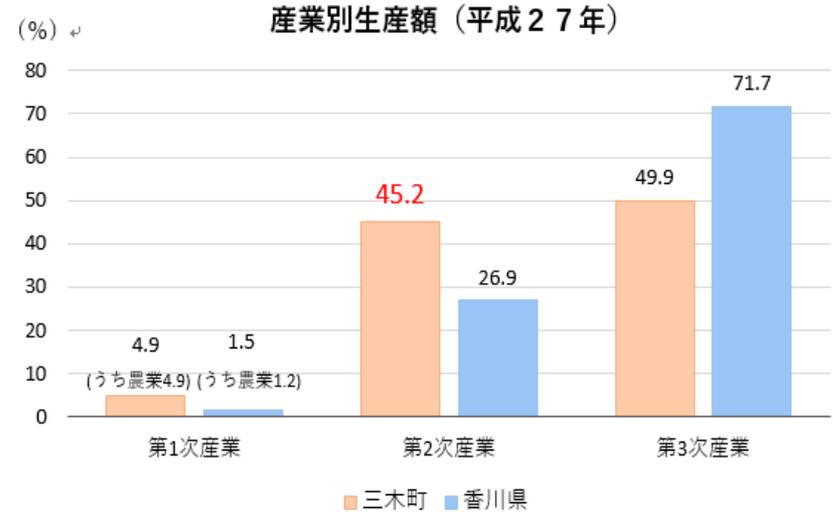
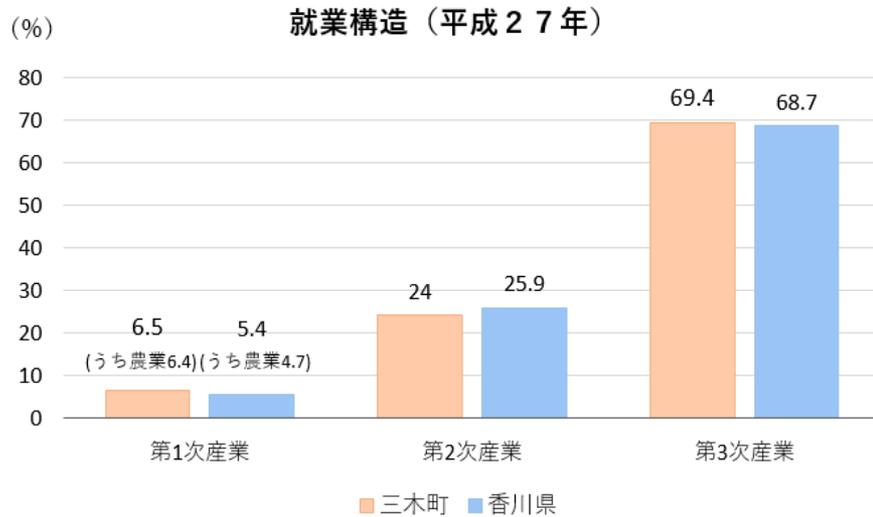


県内の自治体で、高松市からの転入超過となっているのは、三木町、綾川町のみ。

男女別産業別従業員数、香川県との比較(平成27年国勢調査)



就業構造と産業別生産額(本町の稼ぐ力)



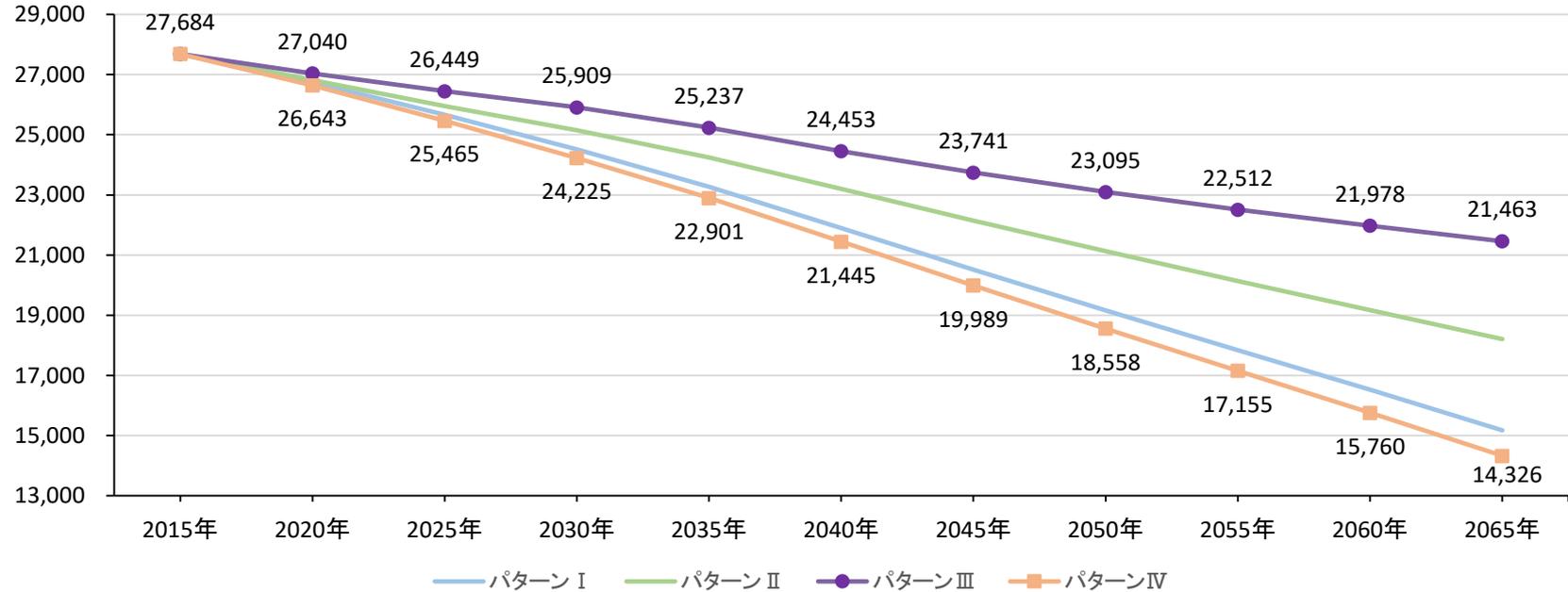
区分	第1産業	左のうち農業	第2次産業	第3次産業
三木町	6.5% (856人)	6.4% (844人)	24.0% (3,145人)	69.4% (9,087人)
香川県	5.4%	4.7%	25.9%	68.7%

区分	第1産業	左のうち農業	第2次産業	第3次産業
三木町	4.9% (31億円)	4.9% (31億円)	45.2% (290億円)	49.9% (320億円)
香川県	1.5%	1.2%	26.9%	71.7%

第2次産業の生産額の割合が非常に高い

1 第2期三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて

人口推計シュミレーション



	出生・死亡(自然増減)	転入・転出(社会増減)
パターン I 《社人研準拠》	合計特殊出生率が1.47程度で推移	2010年～2015年の純移動率が継続
パターン II 《社人研準拠+出生率上昇》	合計特殊出生率が上昇 2020年:1.53程度 2040年:2.10程度	2010年～2015年の純移動率が継続
パターン III 《社人研準拠+出生率上昇 +移動均衡》	合計特殊出生率が上昇 2020年:1.53程度 2040年:2.10程度	純移動率が2015年～2020年からゼロ(均衡)に推移すると仮定
パターン IV ※現状のまま 《社人研準拠+出生率1.31》	合計特殊出生率が現状値のまま(1.31)推移	2010年～2015年の純移動率が継続

1 第2期三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）の基本的方向

計画期間：令和3年度～令和7年度までの5年間の基本方針

「若者が帰ってくるふるさとを創る

～子育てよし、住んでよし、学び遊んでよし、働いてよし～

【基本目標1】 ふるさとの活力を育む産業創成戦略

【基本目標2】 ふるさととのつながりを育み活かすまちづくり戦略

【基本目標3】 子育てしやすい教育まちづくり戦略

【基本目標4】 健やかで心豊かなまちづくり戦略

【基本目標5】 やさしく安全な郷土をつくるまちづくり戦略

2 第2期三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）の施策体系

基本目標

施策の基本的方向

具体的な施策

【基本目標1】 ふるさとの活力を育む産業創成戦略	ア 産業・地域経済の活性化	
	イ 観光振興	
【基本目標2】 ふるさととのつながりを育み活かすまちづくり戦略	ア 産官学金等連携	
	イ 移住・交流	
【基本目標3】 子育てしやすい教育まちづくり戦略	ア 安心して子どもを産み育てられるまち	
	イ 教育のまち宣言	
【基本目標4】 健やかで心豊かなまちづくり戦略	ア 健康寿命の延伸	
	イ 高齢者対策	
【基本目標5】 やさしく安全な郷土をつくるまちづくり戦略	ア 安心・安全(防災)	
	イ やさしい住環境	※
	ウ 公共交通利便性向上	※
	エ 生涯活躍のまち	
	オ 人権尊重意識の高揚	※
	カ 文化の香り高い郷土	※
	キ 健全な行財政運営	※



①	子どもと親の健康を守る
②	支援を要する子どもや家庭を支える
③	多様なニーズに応じた子育て環境をつくる

1 第2期三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて

3 第2期三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）の具体的な施策

3-ア 安心して子どもを産み育てられるまち



3-ア-① 子どもと親の健康を守る

関連するSDGsのアイコンを表示

施策概要

【現状と課題】

現状と課題



【重要業績評価指標 KPI】

指標名	指標の説明	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)
1歳6か月児健康診査受診率	1歳6か月児健康診査対象者のうち受診した割合	100%	100%

KPI（基本目標）
■令和7年度の目標値を設定

【主な実施する事業】

事業名	事業内容
子育て世代包括支援センター 事業	保健師が、妊娠・出産・子育てに関する様々な相談を受け、一人ひとりの家庭の実情に合わせた支援プランを作成し、必要に応じて関係機関につなぐ等支援を行います。
妊産婦訪問事業 こんには赤ちゃん訪問事業	保健師または助産師が家庭訪問し、子育て支援の情報提供を行うとともに、産婦の産後の体調や乳児の成長発達の確認、保健指導を行います。
乳幼児健康診査	各年齢・発達段階に応じた健診を行います。必要があれば、受診や精密検査、療育につなげ、フォローアップします。
乳幼児医療費助成事業	15歳に達した最初の3月31日までの間の子どもに対する医療費を助成します。安心して子供を産み、健やかに育てることができる環境づくりを目指します。

実施する事業
■今後素案に向けて事業をとりまとめ